

大規模盛土造成地マップについて

1. 事業の経緯及び目的

阪神・淡路大震災等における大規模盛土造成地の滑動崩落による被害を受けて、国は大規模盛土造成地の所在把握のための調査や滑動崩落防止のための工事などを支援する宅地耐震化推進事業を創設した。その後、東日本大震災、熊本地震でも同様の被害が発生し、国は同事業の推進に積極的に取り組んでいる。

本市においても、国の方針に基づき平成29年度から大規模盛土の調査に着手し、市民に大規模盛土造成地の存在を知ってもらい防災意識を高めてもらうため、本年度に大規模盛土造成地マップを公表する。

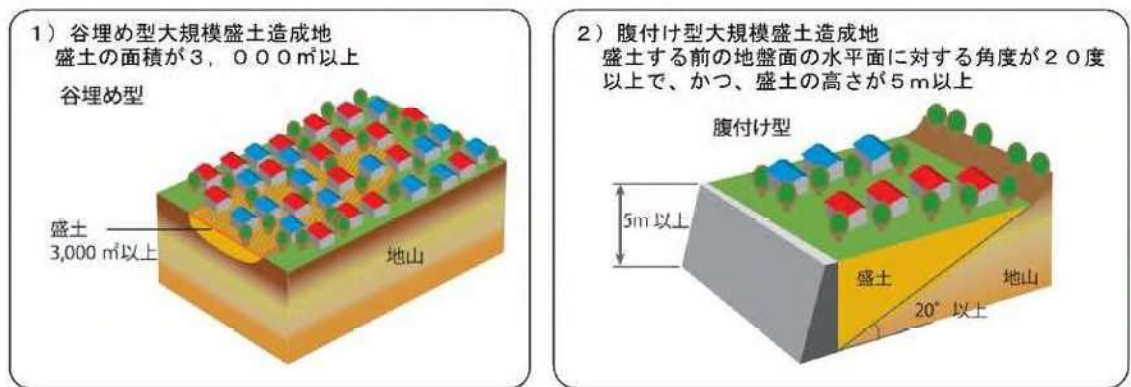
2. 大規模盛土造成地マップとは

大規模盛土造成地マップとは、宅地の造成前と造成後の地形図等を重ね合わせ、標高差から抽出した大規模盛土造成地の概ねの位置とその範囲を示した図面である。

マップに示された箇所が、地震時に必ずしも危険というわけではない。

3. 大規模盛土造成地の種類

以下の2種類に分類される。



4. 公表する大規模盛土造成地の箇所数及び面積

市内における大規模盛土造成地については、以下のとおりである。

谷埋め型盛土	1,320箇所	18,161km ²
腹付け型盛土	377箇所	0,597km ²
計	1,697箇所	18,758km ²

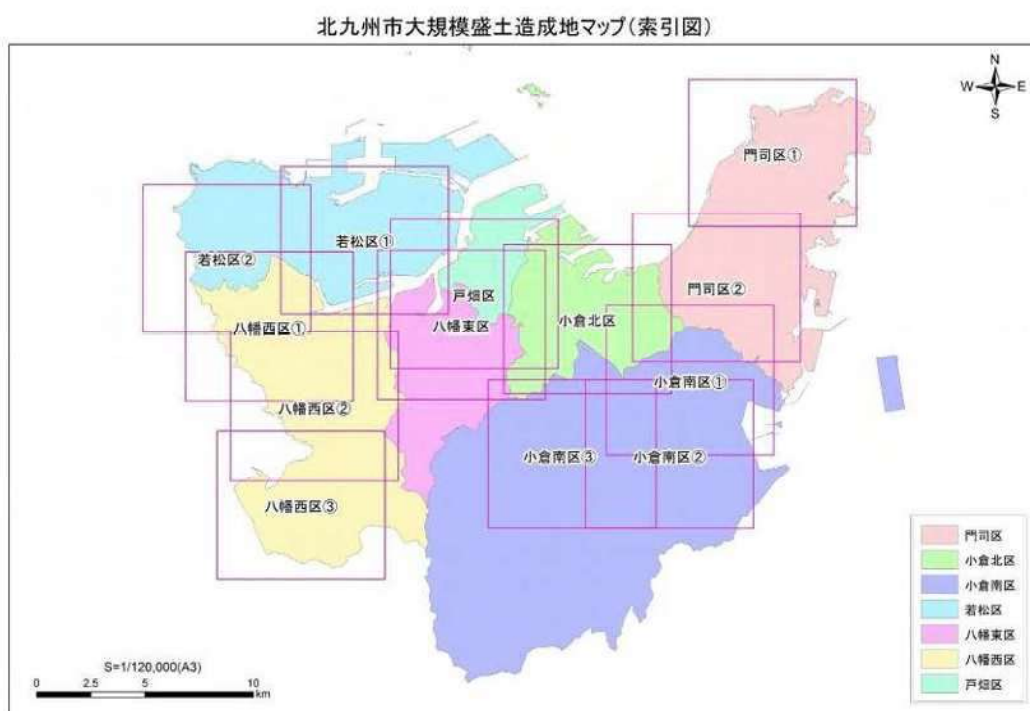
5. 公表方法

市のホームページに掲載する。(令和2年2月下旬)

マップは、市内を13区画に区切り表示する。

マップの代表例として、小倉北区のマップを別紙に示す。

13区画の区切り表示



6. 今後の予定

令和3年3月下旬

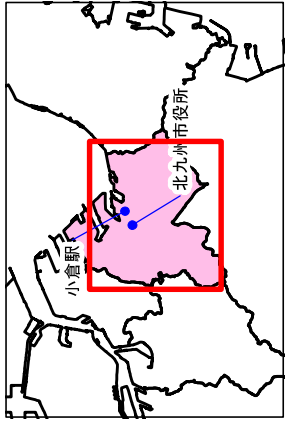
約1700箇所の大規模盛土造成地において、目視による現地踏査及び造成年代調査を行い、盛土造成地台帳整備を完了する。



大規模盛土造成地マップ 小倉北区

このマップは、造成前後の地形図等から大規模盛土造成地のおおむねの位置と規模を示したものであり、危険な箇所を示したものではありません。

	谷埋め型
	腹付け型
	行政界



1:25,000 (A3版)
0 0.5 1 1.5 2 km

この大規模盛土造成地マップは、北九州市長の承認を得て、同市所管の測量成果を使用して作成したものです。
(承認番号) 令和元年北九建都計都第156号

